

# ウェーブロック、BYDにエンブレム素材 メッキ使わず

2025/02/12 14:01 日本経済新聞電子版 485文字

合成樹脂などを手がけるウェーブロックホールディングスは中国の自動車大手の比亞迪（BYD）に、環境配慮型のエンブレム素材の供給を始めた。メッキのように見えるフィルムで、二酸化炭素（CO2）が排出量が少ない。環境配慮をアピールして、自動車メーカーの採用を広げる。

フィルムは子会社のウェーブロック・アドバンスト・テクノロジー（ウェーブロックAT、東京・中央）が製造や販売を手がける。

BYDは主カブランド「王朝」や「海洋」シリーズで採用する。25年中にも同フィルムを用いた車両を日本へ輸出する。

特殊なフィルムは金属調加飾フィルムと呼ばれる。メッキ塗装と比べてCO2を約4割減らせるほか、生産過程で水や電気の使用量が少なく環境負荷が小さい。

金属調加飾フィルムは電波や光を透過する。エンブレムを光らせて企業イメージや認知度を高めたり、車に近づくと自動解錠するスマートキーに用いたりしている。

金属調加飾フィルムの需要は高まっており、米ゼネラル・モーターズ（GM）にも供給をしている。インドの自動車メーカーでは自動車最大手のタタ自動車やマヒンドラ・アンド・マヒンドラも採用を進めている。



BYDはウェーブロックが開発した特殊フィルムの採用を決めた

許諾番号30102566 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.